

じゅ 受	けん 検	ばん 番	ごう 号	し 氏	めい 名

令和8年度(前期)

2級電気工事施工管理技術検定

第一次検定問題

[注 意 事 項]

- ページ数は、表紙を入れて24ページです。
- 試験時間は、10時15分から12時45分までです。
- 解答は、次によってください。
 - [No.1]から[No.4]までの4問題は、全問解答してください。
 - [No.5]から[No.10]までは、6問題のうちから4問題を選択し、解答してください。
 - [No.11]から[No.29]までは、19問題のうちから10問題を選択し、解答してください。
 - [No.30]から[No.35]までは、6問題のうちから3問題を選択し、解答してください。
 - [No.36]から[No.40]までの5問題は、全問解答してください。
([No.37]から[No.40]の4問題は、施工管理法の能力問題です。)
 - [No.41]から[No.50]までは、10問題のうちから6問題を選択し、解答してください。
 - [No.51]から[No.62]までは、12問題のうちから8問題を選択し、解答してください。
- 選択問題の解答数が指定数を越えた場合は、減点となります。
- 問題は、四肢択一式又は五肢択一式です。正解と思う肢の番号を、塗りつぶしてください。
- 解答は、別の解答用紙に、HBの芯を用いたシャープペンシル又はHBの鉛筆で記入してください。それ以外のボールペン、サインペン、色鉛筆などを使用した場合は、採点されません。
- 解答のマークを訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。
消しかたが十分でないと指定数を越えた解答となり、減点となります。
- 解答用紙は、雑書きをしたり、汚したり、折り曲げたりしないでください。
- この問題用紙の余白は、計算などに使用することができます。
- 漢字に付したふりがなは補足であり、異なる読み方の場合があります。
- この問題用紙は、試験終了時刻まで在席した方のうち、希望者は持ち帰ることができます。
途中退席者や希望しない方の問題用紙は回収します。
- 問題文中に「電気設備の技術基準とその解釈」とあるのは、「電気設備に関する技術基準を定める省令」及び「電気設備の技術基準の解釈」のことをいいます。なお、「電気設備の技術基準の解釈」の第7章「国際規格の取り入れ」は除くものとします。

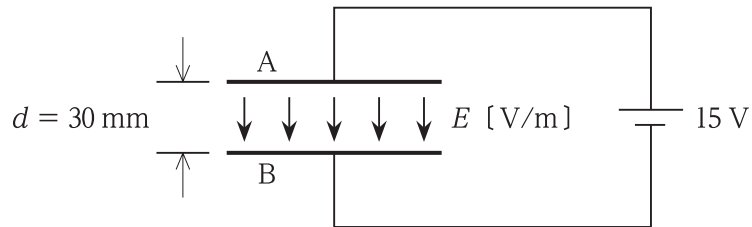
※ 問題番号 [No. 1] から [No. 4] までの 4 問題は、全問解答してください。

[No. 1] 電線の断面を 3 秒間に 12 C (クーロン) の電荷が一定の割合で通過したときの電流の値 [A] として、正しいものはどれか。

1. 4 A
2. 12 A
3. 20 A
4. 36 A

[No. 2] 図に示す平行導体板 AB 間に生じる平等電界 E の大きさの値 [V/m] として、正しいものはどれか。

ただし、平行導体板 A 及び B の面積は、導体板間の間隔 d に対して十分に大きいものとする。

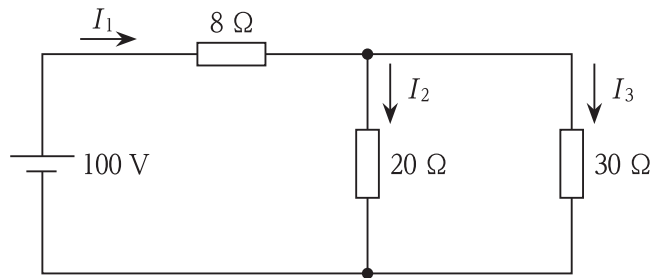


1. 50 V/m
2. 200 V/m
3. 500 V/m
4. 2 000 V/m

※ 問題番号 [No. 1] から [No. 4] までの 4 問題は、全問解答してください。

[No. 3] 図に示す回路において、抵抗 $30\ \Omega$ を流れる電流 I_3 の値 [A] として、正しいものはどれか。

ただし、電池の内部抵抗は無視するものとする。



1. 1 A
2. 2 A
3. 3 A
4. 5 A

[No. 4] 極数が 4 極の三相回転界磁形同期発電機において、周波数を $50\ \text{Hz}$ とする場合の回転速度の値 [min^{-1}] として、正しいものはどれか。

1. $1\ 500\ \text{min}^{-1}$
2. $1\ 800\ \text{min}^{-1}$
3. $3\ 000\ \text{min}^{-1}$
4. $3\ 600\ \text{min}^{-1}$

※ 問題番号 [No.5]から[No.10]までは、6問題のうちから4問題を選択し、解答してください。

[No. 5] 汽力発電所の熱効率の向上対策として、最も不適当なものはどれか。

1. 節炭器を設置する。
2. 復水器の圧力を高くする。
3. タービン入口の蒸気の圧力を高くする。
4. タービン途中の蒸気をボイラで再熱する。

[No. 6] 変電所に用いる電力用コンデンサに関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 力率の調整に用いる。
2. 負荷と並列に接続する。
3. 進み無効電流を供給する。
4. 電圧を連続的に調整できる。

[No. 7] 送電線の表皮効果に関する次の記述において、 に当てはまる語句の組合せとして、適当なものはどれか。

「導体に交流電流が流れるとき、導体の に近いほど電流が多く流れる。この現象は が高くなるほど大きくなる。」

- | | ア | イ |
|----|----|-----|
| 1. | 表面 | 周波数 |
| 2. | 表面 | 電圧 |
| 3. | 中心 | 周波数 |
| 4. | 中心 | 電圧 |

※ 問題番号 [No.5]から[No.10]までは、6問題のうちから4問題を選択し、解答してください。

[No. 8] 高圧架空配電線路に用いられる機材として、最も不適当なものはどれか。

1. パッドマウント変圧器
2. 高圧カットアウト
3. 高圧耐張がいし
4. 放電クランプ

[No. 9] 照明に関する用語と単位の組合せとして、不適当なものはどれか。

- | | 用語 | 単位 |
|----|-------|-------------------|
| 1. | 光束 | lm |
| 2. | 光束発散度 | lm/m ² |
| 3. | 照度 | lx |
| 4. | 輝度 | cd |

[No. 10] 単相誘導電動機の始動法として、最も不適当なものはどれか。

1. 反発始動
2. 分相始動
3. コンデンサ始動
4. スターデルタ(Y-△)始動

※ 問題番号 [No.11]から[No.29]までは、19問題のうちから10問題を選択し、解答してください。

[No. 11] ダム水路式発電所の水圧管における水撃作用に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 水圧管を破裂させることがある。
2. 水圧管の長さが長いほど大きくなる。
3. 水車の使用水量を急激に変化させた場合に発生する。
4. 水車入口弁の閉鎖に要する時間が長いほど大きくなる。

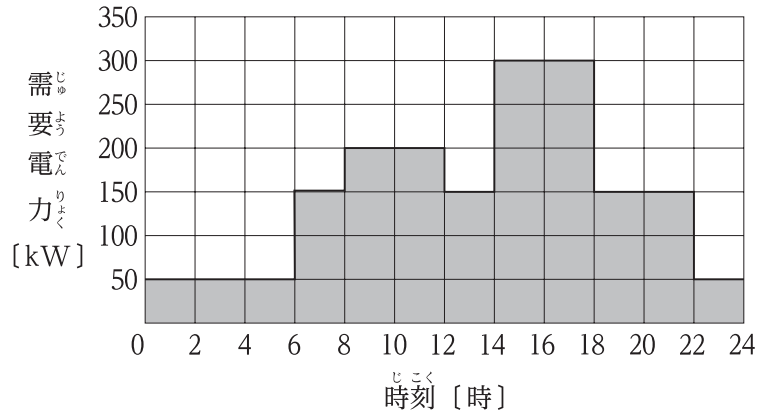
[No. 12] 変圧器の冷却方式に関する次の記述に該当するものとして、最も適当なものはどれか。

「変圧器の絶縁油をポンプにより放熱器との間を強制循環させ、かつ、放熱器を送風機で冷却する方式」

1. 油入風冷式
2. 油入自冷式
3. 送油風冷式
4. 送油自冷式

※ 問題番号 [No.11]から[No.29]までは、19問題のうちから10問題を選択し、解答してください。

[No. 13] 図に示す日負荷曲線の日負荷率 [%] として、正しいものはどれか。



1. 40 %
2. 50 %
3. 60 %
4. 70 %

[No. 14] 送電線路における鉄塔に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 四角鉄塔は、塔体の四面とも同形の構造で、一般に使用されているものである。
2. 方形鉄塔は、鉄道、電車線又は道路をまたいで使用されているものである。
3. えぼし形鉄塔は、長径間や1回線用に使用されているものである。
4. 鋼管柱鉄塔は、送電線周辺の景観に配慮して使用されているものである。

[No. 15] 交流の架空送電線路において、単導体と比較した多導体の特徴として、最も不適当なものはどれか。

ただし、多導体の合計断面積は、単導体の断面積に等しいものとする。

1. 静電容量が減少する。
2. 送電容量が増加する。
3. コロナ損失が減少する。
4. 系統安定度が向上する。

※ 問題番号 [No.11]から[No.29]までは、19問題のうちから10問題を選択し、解答してください。

[No. 16] 交流の送電線路の線路定数に関する次の記述において、 に当てはまる語句として、**適当なものはどれか。**

「送電線路は、抵抗、インダクタンス、静電容量、 の4つの定数をもつ連続した電気回路とみなすことができる。」

1. インピーダンス
2. 漏れコンダクタンス
3. アドミタンス
4. 漏れリアクタンス

[No. 17] 高圧配電線路において一般的に採用されている中性点接地方式として、**適当なものはどれか。**

1. 非接地方式
2. 直接接地方式
3. 消弧リアクトル接地方式
4. 補償リアクトル接地方式

[No. 18] 配電線路に施設する過電流遮断器に関する記述として、「電気設備の技術基準とその解釈」上、**誤っているものはどれか。**

1. 高圧電路の短絡を保護するために施設する過電流遮断器は、その電路を通過する短絡電流を遮断できなければならない。
2. 高圧電路の短絡を保護するために施設する過電流遮断器は、その開閉状態を容易に確認できるものを除き、開閉状態を表示する装置を有するものでなければならない。
3. 電路の一部に接地工事を施した低圧電線路の接地側電線には、過電流遮断器を施設しなければならない。
4. 低圧電路の必要な箇所には、過電流による過熱焼損から電線を保護する過電流遮断器を施設しなければならない。

※ 問題番号 [No.11]から[No.29]までは、19問題のうちから10問題を選択し、解答してください。

[No. 19] 照明用語に関する記述として、「日本産業規格(JIS)」上、誤っているものはどれか。

1. 配光曲線とは、光源の光度の値を空間内の方向の関数として表した曲線である。
2. 光束法とは、ランプ又は照明器具の数量と形式、部屋の特徴、作業面の平均照度の関係を予測する計算方法である。
3. 室指数とは、作業面と照明器具との間の室部分の形状を表す数値で、保守率を計算するために用いるものである。
4. 照明率とは、照明施設の基準面に入射する光束の、その施設に取り付けられた個々のランプの全光束の総和に対する比である。

[No. 20] 低圧三相誘導電動機の保護に用いられる2Eリレーの保護目的の組合せとして、適切なものはどれか。

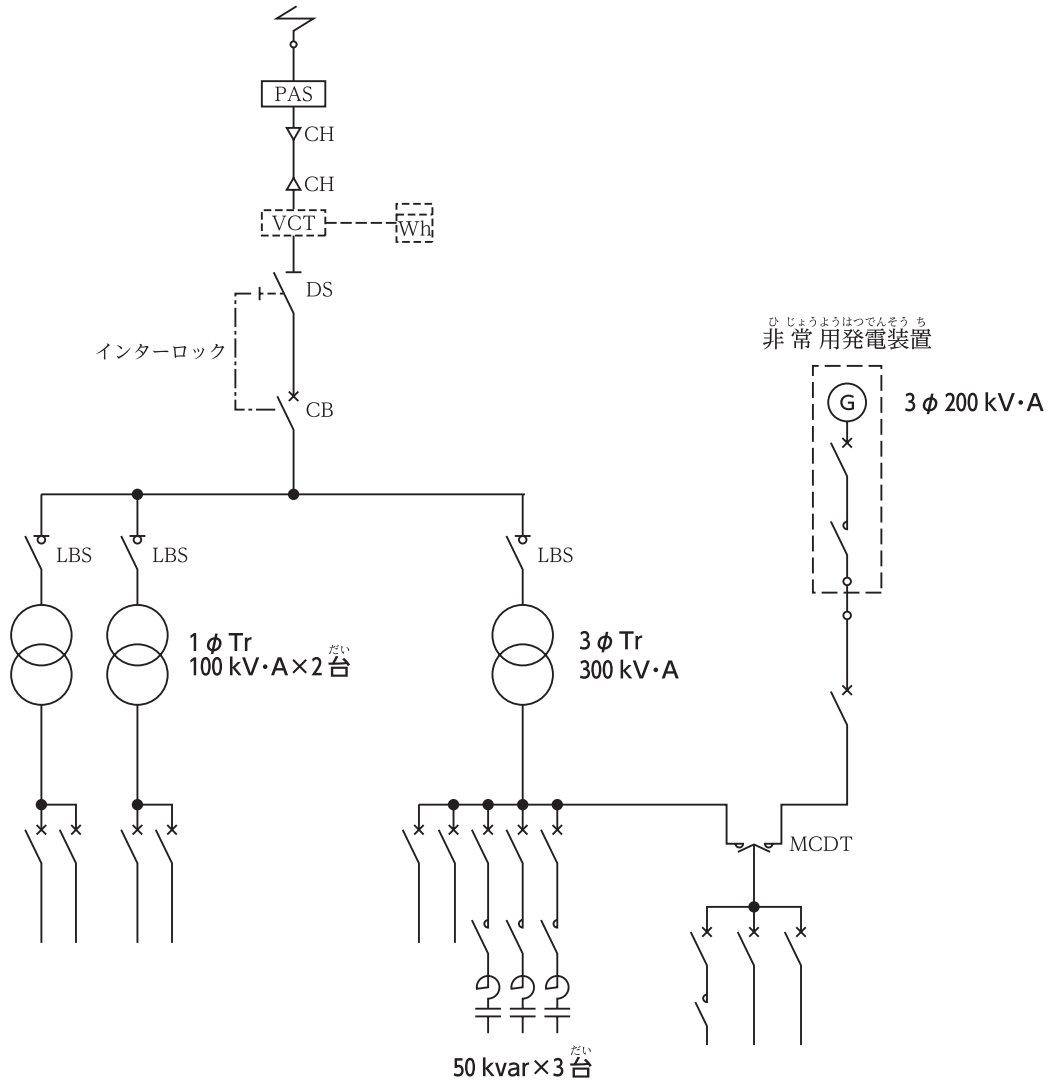
1. 過負荷保護, 欠相保護
2. 過負荷保護, 過電圧保護
3. 欠相保護, 反相保護
4. 過電圧保護, 反相保護

[No. 21] 低圧屋内幹線の電線太さを選定する場合に検討すべき項目として、最も関係のないものはどれか。

1. 電圧降下
2. 許容電流
3. 周囲温度
4. 接地抵抗

※ 問題番号 [No.11]から[No.29]までは、19問題のうちから10問題を選択し、解答してください。

[No. 22] 図に示す高圧受電設備の受電設備容量として、「高圧受電設備規程」上、正しいものはどれか。



1. 450 kV·A
2. 500 kV·A
3. 700 kV·A
4. 850 kV·A

※ 問題番号 [No.11]から[No.29]までは、19問題のうちから10問題を選択し、解答してください。

[No. 23] D種接地工事を施す箇所として、「電気設備の技術基準とその解釈」上、誤っているものはどれか。

1. 高压電路と低压電路とを結合する変圧器の低压側の中性点
2. 高压キュービクル内にある高压計器用変成器の二次側電路
3. 屋内の金属ダクト工事において、使用電圧が200Vの金属ダクト
4. 屋内の接触防護措置を施してある高压ケーブルを収める金属製の電線接続箱

[No. 24] 合成樹脂管工事に關する記述として、「電気設備の技術基準とその解釈」上、誤っているものはどれか。

1. 合成樹脂製可とう管相互は、直接接続しない。
2. 合成樹脂管内では、電線に接続点を設けない。
3. 湿気の多い場所に施設する場合は、防湿装置を施す。
4. CD管は、乾燥した場所において露出配管で施設できる。

[No. 25] 屋内消火栓設備の非常電源として、「消防法」上、定められていないものはどれか。

1. 蓄電池設備
2. 燃料電池設備
3. 自家発電設備
4. 無停電電源設備

[No. 26] 防火区画に用いる随時閉鎖することができる防火戸が備えるものとして、「建築基準法」上、定められていないものはどれか。

1. 炎感知器
2. 連動制御器
3. 自動閉鎖装置
4. 予備電源

※ 問題番号 [No.11]から[No.29]までは、19問題のうちから10問題を選択し、解答してください。

[No. 27] インターホンに関する記述として、「日本産業規格(JIS)」上、誤っているものはどれか。

1. 同時通話式とは、通話者間で同時に通話ができるものをいう。
2. 相互式とは、親機と子機の間に通話網が構成されているものをいう。
3. 通話路数とは、同一の通話網で同時に別々の通話ができる数をいう。
4. 複合式とは、親子式と相互式の組合せによって通話網が構成されているものをいう。

[No. 28] 電車線路におけるトロッコ線の偏いに関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 偏いとは、レール中心に対するトロッコ線の左右の偏りのことをいう。
2. 偏いの増大は、パンタグラフの外れによる事故の危険性がある。
3. 偏い量は、風による揺れや走行状態での車両の動揺などを考慮して規定されている。
4. ジグザグ偏いは、パンタグラフの離線を抑制するために直線区間に設ける。

[No. 29] 道路照明に関する用語の記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 平均路面輝度とは、運転者の視点から見た路面の平均輝度である。
2. 輝度均斉度とは、輝度分布の均一の程度である。
3. 相対閾値増加とは、演色性を定量的に評価するための指標である。
4. 誘導性とは、照明の効果により、運転者に道路の線形を明示するものである。

※ 問題番号 [No.30]から[No.35]までは、6問題のうちから3問題を選択し、解答してください。

[No. 30] 建物の給水設備における受水槽を設置したポンプ直送方式に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 高置水槽方式と比較して、水質汚染の可能性が高くなる。
2. 建物の停電時には、給水ポンプが停止し、給水が不可能となる。
3. 受水槽の水を給水ポンプで建物内の必要な箇所へ直送する方式である。
4. 水道本管の圧力変化の影響を受けることなく、給水圧力はほとんど一定である。

[No. 31] アスファルト舗装と比較した場合の、コンクリート舗装の特徴に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 耐久性に富んでいる。
2. せん断力に強いが、曲げ応力に弱いので沈下しやすい。
3. 施工後の養生期間が長く、部分的な補修が困難である。
4. 温度変化によって、膨張、収縮するので、目地が必要である。

[No. 32] 建設作業に使用する移動式クレーンの安全装置として、最も関係のないものはどれか。

1. 揚貨装置
2. 外れ止め装置
3. 巻過警報装置
4. 過負荷防止装置

[No. 33] 地中送電線路における管路の埋設工法として、最も不適当なものはどれか。

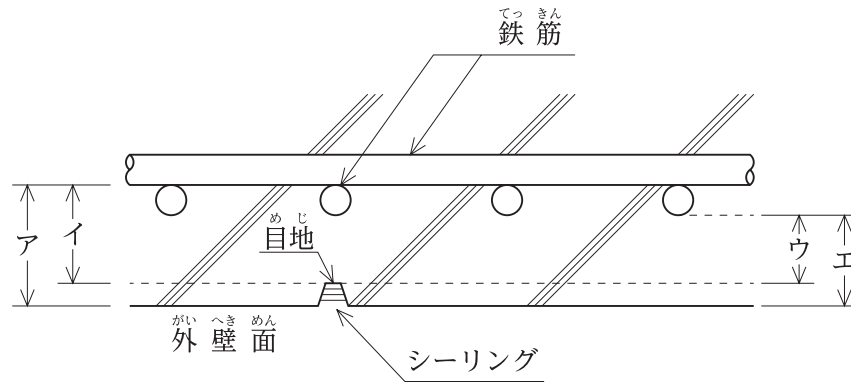
1. 開削工法
2. 刃口推進工法
3. セミシールド工法
4. オールケーシング工法

※ 問題番号 [No.30]から[No.35]までは、6問題のうちから3問題を選択し、解答してください。

[No. 34] 鉄道線路のカントに関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. カントは、左右レールの高低差で表される。
2. 曲線半径が同じであれば、運行速度が速いほどカントは大きい。
3. 運行速度が同じであれば、曲線半径が小さいほどカントは大きい。
4. カントは、曲線を通過する車両の内側方向への転倒を防止するものである。

[No. 35] 図に示す鉄筋コンクリート造の壁の断面において、鉄筋の最小かぶり厚さとして、正しいものはどれか。



1. ア
2. イ
3. ウ
4. エ

※ 問題番号 [No.36]から[No.40]までの5問題は、全問解答してください。

[No. 36] 電話・情報設備の配線用図記号と名称の組合せとして、「日本産業規格(JIS)」上、不適当なものはどれか。

- | | はいせんようずきこう
配線用図記号 | めいしょう
名称 |
|----|----------------------|-----------------------|
| 1. | ATT | きよくせんちゅうけいだい
局線中継台 |
| 2. | IDF | ハブ |
| 3. | TA | ターミナルアダプタ |
| 4. | — | たんしばん
端子盤 |

[No. 37] 建設工事における仮設計画に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

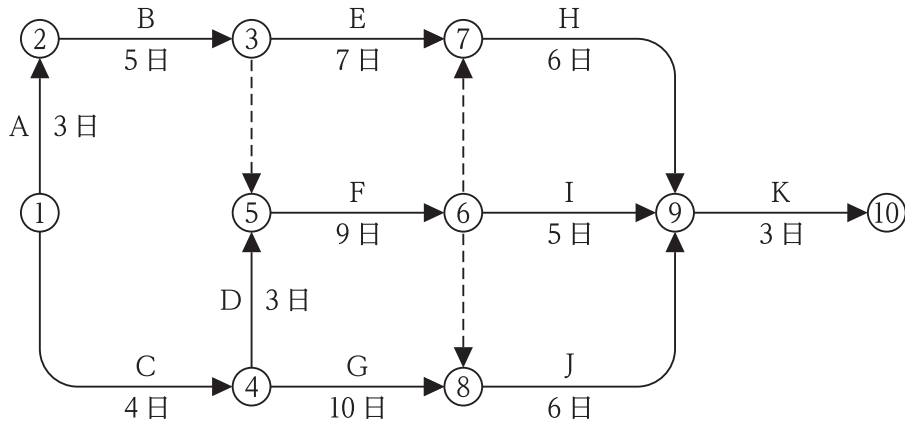
1. 工事用機材や資材の盗難防止のために、セキュリティ設備を計画した。
2. 仮設事務所は、工事の進捗に伴う移動の多い場所には配置しないように計画した。
3. 工事用電源は、工期の当初は仮設発電機を利用し、その後一般送配電事業者(電力会社)から受電する計画とした。
4. 仮設分電盤の扉は、開閉器の操作が容易にできるように、施錠しない計画とした。
5. 近隣のテレビ電波障害対策が必要なため、仮設アンテナを設置する計画とした。

[No. 38] 建設工事の工程管理において、バーチャート工程表と比較したネットワーク工程表に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 工程の遅れ日数の計算が容易な、ネットワーク工程表を用いた。
2. 各作業の余裕日数が容易に分かる、ネットワーク工程表を用いた。
3. 作業の手順、順序が理解しやすい、ネットワーク工程表を用いた。
4. 計画出来高と実績出来高の比較が容易な、ネットワーク工程表を用いた。
5. 重点的工程管理をすべき作業が容易に分かる、ネットワーク工程表を用いた。

※ 問題番号 [No.36]から[No.40]までの5問題は、全問解答してください。

[No. 39] 図に示すネットワーク工程表に関する記述として、**不適当なもの**はどれか。
ただし、○内の数字はイベント番号、アルファベットは作業名、日数は所要日数を示す。



1. クリティカルパスの**日数(所要工期)**は、26日である。
2. 作業 H は、イベント①から15日後に開始できる。
3. 作業 D と作業 G は、同時に開始できる。
4. 作業 F の完了は、イベント①から17日後である。
5. 作業 F と作業 K は、クリティカルパス上の作業である。

[No. 40] 品質管理活動における次の(ア)～(エ)の**作業内容**について、管理のサイクルPDCAの手順として、**適当なもの**はどれか。

- (ア) 不具合が出たら、原因を調べて処置する。
- (イ) 品質の会社方針を決め、品質の仕様を決定する。
- (ウ) 品質を測定・試験し、結果を基準と比較し確認する。
- (エ) 作業標準にしたがって、作業を実施する。

1. (イ) → (ウ) → (ア) → (エ)
2. (イ) → (ア) → (ウ) → (エ)
3. (イ) → (エ) → (ウ) → (ア)
4. (イ) → (ウ) → (エ) → (ア)
5. (イ) → (エ) → (ア) → (ウ)

※ 問題番号 [No.41]から[No.50]までは、10 問題のうちから 6 問題を選択し、解答してください。

[No. 41] 建設工事における施工計画書に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 施工計画書は、工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめたものである。
2. 施工計画書は、工事の施工前に工事監理者に提出し確認を受ける。
3. 総合施工計画書は、施工体制、仮設計画及び安全衛生管理計画を含めて作成する。
4. 総合施工計画書は、工種別施工計画書(施工要領書)に基づき作成する。

[No. 42] 新築事務所ビルの電気工事における総合工程表の作成に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 関連する建築工程を、電気工事との関連性がわかるように記入する。
2. 諸官庁の各種検査日を、関係者と十分打合わせして予定時期を記入する。
3. 仕上げ工事など各種の工事が集中する時期は、各作業を詳細に記入する。
4. 主要機器の工事工程は、製作期間、現場搬入時期、据付調整期間などを見込んで記入する。

[No. 43] 高圧電路の絶縁性能の試験(絶縁耐力試験)に関する次の記述において、に当てはまる語句として、「電気設備の技術基準とその解釈」上、適当なものはどれか。

「最大使用電圧の1.5倍の交流試験電圧を、電路と大地との間に連続して加えたとき、これに耐える性能を有すること。」

1. 5 分間
2. 10 分間
3. 15 分間
4. 20 分間

※ 問題番号 [No.41]から[No.50]までは、10 問題のうちから 6 問題を選択し、解答してください。

[No. 44] 要求性能墜落制止用器具等の取付設備等に関する次の記述において、 に当てはまる語句として、「労働安全衛生法」上、**適当なものはどれか。**

「事業者は、高さが以上の箇所で作業を行う場合において、労働者に要求性能墜落制止用器具等を使用させるときは、要求性能墜落制止用器具等を安全に取り付けるための設備等を設けなければならない。」

1. 1.5 m
2. 1.8 m
3. 2.0 m
4. 2.5 m

[No. 45] 高さ 2 m 以上の足場の作業床に関する記述として、「労働安全衛生法」上、**誤っているものはどれか。**

ただし、一側足場及びつり足場を除くものとする。

1. 作業床の床材の幅は 30 cm とした。
2. 作業床の床材間の隙間を 3 cm 以下とした。
3. 作業床の床材は脱落しないように二の支持物に取り付けた。
4. 作業床の床材と建地との隙間を 12 cm 未満とした。

[No. 46] キュービクル式高圧受電設備の受渡試験の標準的な試験項目として、「日本産業規格 (JIS)」上、**定められていないものはどれか。**

1. 動作試験
2. 構造試験
3. 防水試験
4. 耐電圧試験

※ 問題番号 [No.41]から[No.50]までは、10 問題のうちから 6 問題を選択し、解答してください。

[No. 47] 架空配電線路の施工に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 柱上変圧器の二次側に、B種接地工事を施した。
2. 配電用避雷器を区分開閉器の近くに取り付けた。
3. 高圧配電線路の短絡保護のため、配電用変電所に過電圧継電器を設けた。
4. 単相3線式の低圧配電線路において、電圧の不平衡を防ぐため、線路の末端にバランスを取り付けた。

[No. 48] 金属管配線に関する記述として、「内線規程」上、誤っているものはどれか。

ただし、金属管配線には、接触防護措置が施されていないものとする。

1. 金属管と接地線の接続を、点検できる隠ぺい場所で行った。
2. 水気のある場所に施設する金属管配線に絶縁電線を使用した。
3. 金属管の太さが31 mmの管の内側の曲げ半径を、管内径の4倍とした。
4. 使用電圧が300 Vを超える場合の金属管及びその附属品に、C種接地工事を施した。

[No. 49] 電車線に関する次の記述に該当する区分装置(セクション)として、最も適当なものはどれか。

「交流区間と直流区間を電氣的に区分するため、区間の境界に設けられる装置」

1. デッドセクション
2. がいし形セクション
3. FRPセクション
4. エアセクション

※ 問題番号 [No.41]から[No.50]までは、10問題のうちから6問題を選択し、解答してください。

[No. 50] 建築物等に設ける防犯設備に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. センサライトは、ライトを点灯して侵入者を威嚇するため、外壁に取り付けた。
2. パッシブセンサは、熱線を放出して侵入者を検知するため、外壁に取り付けた。
3. ガラス破壊センサは、主に、はめごろし窓のガラスの破壊及び切断を検知するため、ガラス面に取り付けた。
4. マグネットセンサ(ドアスイッチ)は、扉の開閉を検知するため、リードスイッチ部を建具枠に、マグネット部を扉に、それぞれ取り付けた。

※ 問題番号 [No.51]から[No.62]までは、12 問題のうちから 8 問題を選択し、解答してください。

[No. 51] 指定建設業として、「建設業法」上、定められていないものはどれか。

1. 舗装工事業
2. 造園工事業
3. 鋼構造物工事業
4. 消防施設工事業

[No. 52] 建設業の用語に関する記述として、「建設業法」上、誤っているものはどれか。

1. 発注者とは、建設工事を実施するための下請契約における注文者をいう。
2. 建設業者とは、一般建設業又は特定建設業の許可を受けて建設業を営む者をいう。
3. 主任技術者とは、工事現場における建設工事の施工の技術上の管理をつかさどる者をいう。
4. 営業所技術者とは、一般建設業者において請負契約の締結の業務に関する技術上の管理をつかさどる者をいう。

[No. 53] 電気工作物に関する記述として、「電気事業法」上、誤っているものはどれか。

1. 事業用電気工作物とは、一般用電気工作物以外の電気工作物をいう。
2. 経済産業大臣は、一般用電気工作物が技術基準に適合していないと認めるときは、その所有者に対し、修理を命ずることができる。
3. 一般用電気工作物を設置する者は、電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安の監督をさせるため、主任技術者を選任しなければならない。
4. 小規模事業用電気工作物を設置する者は、省令で定める事項を記載した書類を添えて、経済産業大臣に届け出なければならない。

※ 問題番号 [No.51]から[No.62]までは、12問題のうちから8問題を選択し、解答してください。

[No. 54] 免状又は認定証の交付を受けた日から、5年以内ごとに自家用電気工作物の保安に関する講習を受けなければならない者として、「電気工事士法」上、定められているものはどれか。

1. 認定電気工事従事者
2. 第一種電気工事士
3. 第二種電気工事士
4. 第三種電気主任技術者

[No. 55] みなし登録電気事業者の届出において、届出書に記載する事項として、「電気工事業の業務の適正化に関する法律」上、定められていないものはどれか。

1. 主任電気工事士等の氏名
2. 1級電気工事施工管理技士の氏名
3. 電気工事業を開始した年月日
4. 建設業の許可を受けた年月日

[No. 56] 電気工事に使用する機材のうち、「電気用品安全法」上、電気用品に該当しないものはどれか。

ただし、機材は、防爆型のもの及び油入型のものを除く。

1. ねじなし電線管(E31)
2. ライティングダクト(定格 AC 125 V 2 P 15 A)
3. 合成樹脂製プルボックス(300 mm×300 mm×200 mm)
4. 600 V 架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(EM-CE 38 mm²-3C)

※ 問題番号 [No.51]から[No.62]までは、12 問題のうちから 8 問題を選択し、解答してください。

[No. 57] 建築物に関する記述として、「建築基準法」上、誤っているものはどれか。

1. 学校は、特殊建築物である。
2. 体育館は、特殊建築物である。
3. 建築物に設ける避雷針は、建築設備である。
4. 鉄道のプラットホームの上家は、建築物である。

[No. 58] 消防の用に供する設備のうち、警報設備として、「消防法」上、定められていないものはどれか。

1. 手動式サイレン
2. 漏電火災警報器
3. 自動火災報知設備
4. 無線通信補助設備

[No. 59] 建設業における安全衛生推進者に関する記述として、「労働安全衛生法」上、誤っているものはどれか。

1. 事業者は、選任すべき事由が発生した日から 14 日以内に、安全衛生推進者を選任しなければならない。
2. 事業者は、常時 10 人以上 50 人未満の労働者を使用する事業場において、安全衛生推進者を選任しなければならない。
3. 安全衛生推進者は、選任された事業場において、医学に関する専門的知識を必要とする者で、労働者の健康教育、健康相談及び健康の保持増進を図るための措置に関するこの業務を担当する。
4. 安全衛生推進者は、選任された事業場において、労働者の安全又は衛生のための教育の実施に関するこの業務を担当する。

※ 問題番号 [No.51]から[No.62]までは、12問題のうちから8問題を選択し、解答してください。

[No. 60] 建設業の事業場において、労働者の健康管理等に関する記述として、「労働安全衛生法」上、誤っているものはどれか。

1. 事業者は、健康診断の結果に基づき、健康診断個人票を作成して、これを3年間保存しなければならない。
2. 事業者は、常時使用する労働者に対し、医師による定期健康診断を行い、他覚症状の有無の検査を行わなければならない。
3. 事業者は、常時使用する労働者を雇い入れるときは、医師による健康診断を行い、業務歴の調査を行わなければならない。
4. 事業者は、常時50人以上の労働者を使用する事業場には、産業医を選任し、その者に労働者の健康管理等を行わせなければならない。

[No. 61] 労働契約及び災害補償に関する記述として、「労働基準法」上、誤っているものはどれか。

1. 親権者は、未成年者に代って労働契約を締結することはできない。
2. 使用者は、労働契約の不履行について違約金を定める契約をしてはならない。
3. 労働者が受けていた災害補償の権利は、労働者が退職することにより変更される。
4. 休業補償は、療養補償を受け療養中の労働者が、労働することができないために賃金を受けない場合における補償である。

[No. 62] 建設工事において、工作物の改築に伴って生じる廃棄物の種類に関する記述として、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」上、誤っているものはどれか。

1. 紙くずは、産業廃棄物である。
2. 木くずは、一般廃棄物である。
3. 金属くずは、産業廃棄物である。
4. 灯油類の廃油は、特別管理産業廃棄物である。

